

FEI 総合馬術競技 2スター(2*) 2015 馬場馬術課目 A	CI 2* A
参考時間：入場から最後の敬礼まで - 約5分	

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
出番順	競技者名	所属	馬名

		運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見
1.		A 尋常速歩で入場 I 停止、敬礼、収縮速歩で発進 左手前蹄跡に入る C	修正、リズム、真直性 移行、停止、コンタクトと頭頸 収縮速歩、回転での屈曲とバランス	10		
2.		S 左へ10mの輪乗り、収縮速歩	収縮速歩、修正、回転での屈曲と バランス	10		
3.		SV 左肩を内へ	角度と一様の屈曲、運歩の修正と 弾力性	10		
4.		V Lへ左へ10mの半輪乗り LからS&H間 左へハーフパス HC 収縮速歩	収縮速歩 半輪乗りの 修正、バランスと屈曲 Flexion、一様の屈曲、流暢さ、 ハーフパスでの肢の交叉	10		
5.		CM 収縮速歩 MV 斜め手前変換、中間速歩 (速歩または軽速歩) VK 収縮速歩	修正、リズム、エラストシティー、 ストライドとフレームの伸展 移行	10		
6.		K 左へ回転 D 停止、不動	停止への移行 - エンゲイジメントと不動 (2-3秒)	10		
7.		D 4-5歩後退、中間常歩で発進 F 左手前蹄跡に入る	運歩の修正、後退でのバランスと 扶助の受入れ	10		
8.		FPXS 伸長常歩	修正、運歩とアウトラインの伸展、 扶助の受入れ、肩の自由さと オーバートラック	10		
9.		SHC 中間常歩	運歩の修正、リズム、アウトライン、 扶助の受入れ	10		
10.		CMR 中間速歩 R 右へ10mの輪乗り、収縮速歩	収縮速歩 修正、輪乗りでの バランスと屈曲	10		
11.		RP 右肩を内へ	角度と一様の屈曲、運歩の修正と 弾力性	10		
12.		P Lへ右へ10mの半輪乗り LからR&M間 右へハーフパス MC 収縮速歩	収縮速歩 半輪乗りの 修正、バランスと屈曲 Flexion、一様の屈曲、流暢さ、 ハーフパスでの肢の交叉	10		
13.		CHS 左収縮駢歩 SEXBP 斜め手前変換、収縮駢歩そして 反対駢歩 PFA 反対駢歩	駢歩への移行 収縮駢歩と反対駢歩での正確さ、 流暢さ、修正、リズム、 バランスと質	10		
14.		A シンプルチェンジ	常歩への直接的な移行 3-5歩の常歩 駢歩への直接的な移行	10		
15.		AK 右収縮駢歩 KH 中間駢歩 HC 収縮駢歩	中間への移行 修正、リズムと運歩の進展 中間から収縮への滑らかな 移行	10		
計				150		

FEI 総合馬術競技 2スター(2*) 2015 馬場馬術課目 A	CI 2* A
参考時間：入場から最後の敬礼まで - 約5分	

出番順 競技者名 所属 馬名

				計	150	
No.	運動課目	着眼点	最高点	採点	観察所見	
16.	CMR 収縮駢歩 RBXEV 斜め手前変換、収縮駢歩そして 反対駢歩 VKA 反対駢歩	正確さ 収縮駢歩と反対駢歩での 整正、リズム、バランス、 屈曲とセルフキャリッジ	10			
17.	A シンプルチェンジ	常歩への直接的な移行 3-5歩の常歩 駢歩への直接的な移行	10			
18.	AF 収縮駢歩 FM 中間駢歩 MC 収縮駢歩	中間駢歩への移行 整正、リズムと歩幅の進展 中間から収縮への 滑らかな移行	10			
19.	CH 収縮速歩 HXF 斜め手前変換、中間速歩 (速歩または軽速歩)	整正、リズム、弾力性と 歩幅とフレームの進展 移行	10			
20.	FA 収縮速歩 A 中央線に入る L 停止 不動 敬礼	正確さ、速歩の整正とバランス 中央線での真直性 移行と敬礼時の不動	10			
手綱を伸ばした常歩でAより退場						
				小計	200	

総合観察		最高点	採点	観察所見
21. ペース	自由自在に变じ、かつ整正であること	10		
22. インパルジョン	馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント	10		
23. 従順性	注意力と従順、運動の軽快性及び無理のなさ、 正しいハミ受けとコンタクト	10		
24. 騎手	騎手の姿勢と騎座、扶助の正しい使用とその効果	10		
		合計	240	

注:a)要求されている収縮の程度は、課目に規定されている運動を無理なく流暢に行なえるものであれば十分である。
b) 括弧で示された標記は方向を示すものであり、その箇所の運動は順次採点される。

減点すべきもの：運動課目の誤り

- 1回目 = 2点減点・・・・・・・・・・
- 2回目 = 4点減点・・・・・・・・・・
- 3回目 = 失権

その他の誤り：誤りごとに2点減点

合計

注1：運動項目に「軽速歩」とない限り、尋常、中間、伸長速歩は「(座った)速歩」で実施されなければならない。
注2：CI 2*/3*/4*においては、水勒と同様に大勒も可。

審判員署名